

(仮称) 西元町一丁目公園（薬師堂北公園）について

- 1 対象地 西元町一丁目 12（都立武蔵国分寺公園に接続）



- 2 面積 約 1,081 m²

- 3 現況 フェンスが当該地を囲み、閉鎖状態で管理をしている。
解体工事・発掘調査等によりフェンス際には瓦礫がある。
地面は芝生。

4 暫定整備の目的

武蔵国分寺の成り立ちを考える上で重要な位置にある当該地は、史跡指定 100 周年を契機に発掘調査（事前遺構確認調査）を実施した結果、縄文時代から近現代に至る遺構が多く出土した。このため、本格的な史跡整備に備え、当面の間新庁舎と史跡地をつなぐ暫定的な整備を行う必要がある。

5 暫定整備の方向性

- ① フェンス・瓦礫を撤去し、都立公園につながる開放空間としての提供を検討する。
- ② 置き型看板を設置し、発掘調査の成果を周知するとともに、史跡地へ人の流れを促す。
- ③ 発見された竪穴建物等については、看板での説明にあわせて、現地では当面の間、簡易的な手法により原位置を表示する。

